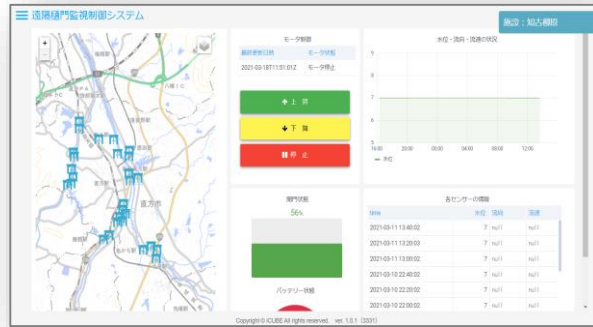


## 1. 取組方針

異常気象・大雨による河川災害リスクとして、市の認識する河川管理上の行政課題に対し、AIやIoT等、時代に即した技術を活かすことで解決を進める。獲得した技術による実用化・事業化も検討し、直方市の産業振興に貢献する。

## 3. 実施内容

手動の樋門を遠隔で操作でき、水位等状態把握も遠隔で行えます。この仕組みは、電動式樋門や、フラップゲート式にも採用でき、統合した情報把握と制御が実現可能となります。

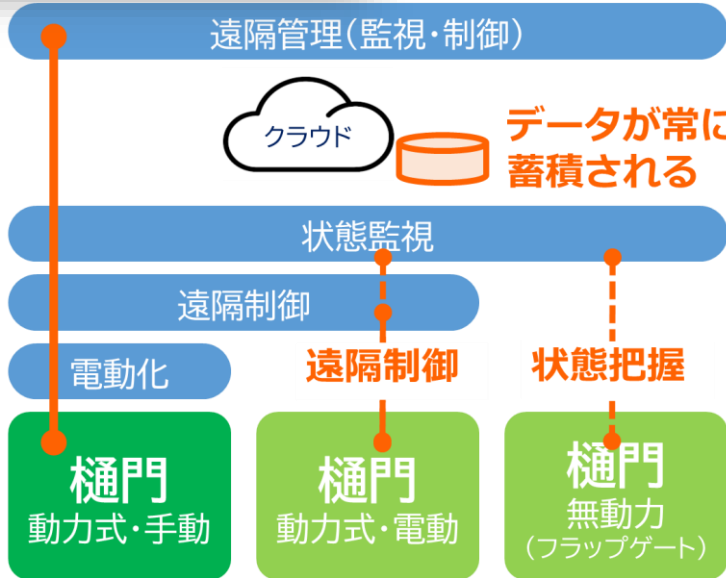


クラウド経由、遠隔地から樋門の状態把握と開閉が可能

手動樋門の電動化ユニット



水位を測定するセンシングユニット



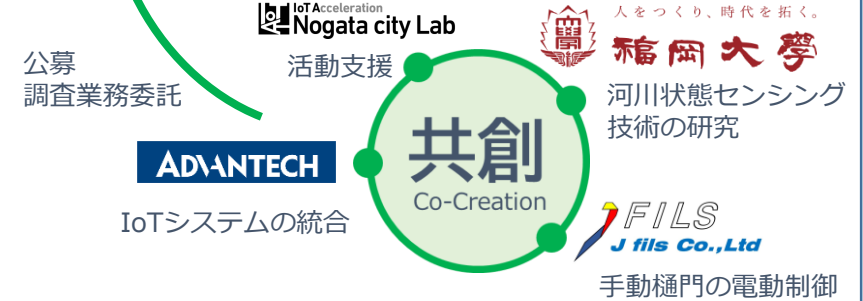
遠隔から状態がわかる

安価で簡単に取付け可能

## 2. 推進体制



「産学官連携」で  
社会課題解決へ挑戦



## 4. 今後の構想

今後も継続して技術改良・実証の継続・拡大を進めさせていただき、河川の防災課題解決に貢献する技術の実現と、その技術を活かした直方市の産業振興に貢献したいと考えております。

